

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成20年 1月11日に不適合管理委員会で審査された不適合事象は、下記のとおりです。

区分Ⅰ：該当なし

区分Ⅱ：1件

No.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	5号機	定期検査の準備作業として使用済燃料プール内で制御棒などの収納ラック据え付け作業を行っていたところ、使用済燃料プール底部にナット1個（外径約1cm×厚さ約0.5cm）があることを発見し回収した。当該ナットの落下位置は、燃料の保管場所から離れており、安全上問題はないものと考えられるが、今後、原因について調査する	A s	1月10日公表済 PDF140KB

区分Ⅲ：該当なし

その他：6件

No.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	2号機	タービン建屋1階480Vパワーセンタ室局所空調機の振動測定において、軸受の振動値に許容値超えが認められたため、当該空調機ファンを点検・調整	D	
2	4号機	所内ボイラ給水ポンプ（A）点検において、軸受メタルに摺動摩耗が認められたため、当該軸受を交換	D	
3	5号機	タービン駆動原子炉給水ポンプ（A）軸受振動記録計に印字不良（筋状の汚れ）が認められたため、当該記録計を点検・修理	D	
4	5号機	所内ボイラ重油移送ポンプ（B）出口圧力計保護用圧力緩衝装置に油のにじみが認められたため、当該部を点検・修理	D	
5	5号機	補機冷却海水系硫酸第一鉄サブタンクのレベルスイッチ用カバー（アクリル製）に破損が認められたため、当該カバーを交換	D	
6	6号機	プロセス放射線モニタ機能検査実施中に発見した不適合（誤記）の訂正方法の選択誤りが認められたため、対応検討	C	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画外の原子炉停止</li> <li>・発電所外への放射性物質の漏えい</li> <li>・非常用炉心冷却系の作動</li> <li>・火災の発生 など</li> </ul>
区分Ⅱ	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全上重要な機器等の軽度な故障（技術基準に適合する場合）</li> <li>・管理区域内の放射性物質の軽度な漏えい</li> <li>・原子炉等への異物の混入 など</li> </ul>
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化</li> <li>・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障</li> <li>・主要パラメータの緩やかな変化</li> <li>・人の負傷または病気の発生 など</li> </ul>
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常小修理 など</li> </ul>

<原子力発電所における不適合事象の是正管理>

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講じることとしております。

\* 「不適合の定義」（JEAG4101-2000より）

本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）

不適合管理グレード分け（不適合管理委員会にて決定）

- A s : 法令、安全協定に基づく報告事象  
プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 保安規定に関わる不適合事象  
定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた不適合事象  
運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な不適合事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

<注 意>

掲載内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のお電話までお願いいたします。

電 話：0240-32-3432 福島第一原子力発電所・広報部・情報発信グループまで